

太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日付 ▼情報 暦(こよみ) 天文現象 イベント 二十四節気	1 半夏生	2	3 上弦	4 ☆水星が東方最大離角	5	6
月の形 日の出 日の入	 04:28 19:05	 04:29 19:05	 04:29 19:05	 04:30 19:04	 04:30 19:04	 04:31 19:04
7 七夕	8	9	10	11 満月	12	13 星空さんぽ
 04:31 19:04 小暑	 04:32 19:04	 04:32 19:03	 04:33 19:03	 04:34 19:03	 04:34 19:02	 04:35 19:02
14	15	16 ・月と土星が接近	17 ・月と土星が接近	18 下弦	19 トワイライト	20 星空さんぽ
 04:35 19:01	 04:36 19:01	 04:37 19:00	 04:37 19:00	 04:38 18:59	 04:39 18:59	 04:39 18:58
21 海の日	22 ・日の出前の東の空で月と金星が接近	23	24	25 新月	26 トワイライト	27 全編生解説
 04:40 18:58	 04:41 18:57 大暑	 04:42 18:56	 04:42 18:56	 04:43 18:55	 04:44 18:54	 04:45 18:53
28 ・月と火星が接近	29 ・月と火星が接近	30	31 ・みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大	☆水星が東方最大離角 夕方西の低空で水星を見つけやすくなる。 西の空が開けた場所で太陽がしずんでから探してみよう。 双眼鏡を使って探るのがおすすめ。		
 04:45 18:53	 04:46 18:52	 04:47 18:51	 04:48 18:50			

二十四節気



月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

小暑(しょうしょ)・・・暑気(しょき)に入り梅雨のあけるころ。
大暑(たいしょ)・・・夏の暑さが最もきまるところ。



プラネタリウムイベント情報!

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

夏の星空さんぽ

13日 15:50~16:40

見ごろの星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。

トワイライトプラネタリウム

19日 18:00~19:00

「ハナビリウム」前半は今夜の星空解説

全編生解説プラネタリウム

27日 15:50~16:40

テーマ「ブラックホール」前半は今夜の星空解説

月を毎日観察すると

月の形が変わる

7月3日に上弦(半月)、11日には満月になります。その後、月は欠けていき、7月18日には下弦(半月)となり、25日に新月になります。

月の見える位置が変わる

毎日同じ時間に観察すると、西から東に少しずつ動いていくことが分かります。月の出は約50分ずつ遅くなり、日々違う位置で見ることができます。

夜8時の月の位置



惑星と接近する

月と惑星が近づいて見える「接近」も楽しめます。例えば、7月16日~17日には月が土星の近くを通ります。また、8月20日の明け方には、月のすぐ近くに木星と金星が見えます。これらの接近は望遠鏡がなくても肉眼で十分楽しめるので、星空観察の良いチャンスです。



このように、月の満ち欠けや動き、そして月と惑星の接近を観察すると、宇宙の不思議さや星空の変化を身近に感じることができます。

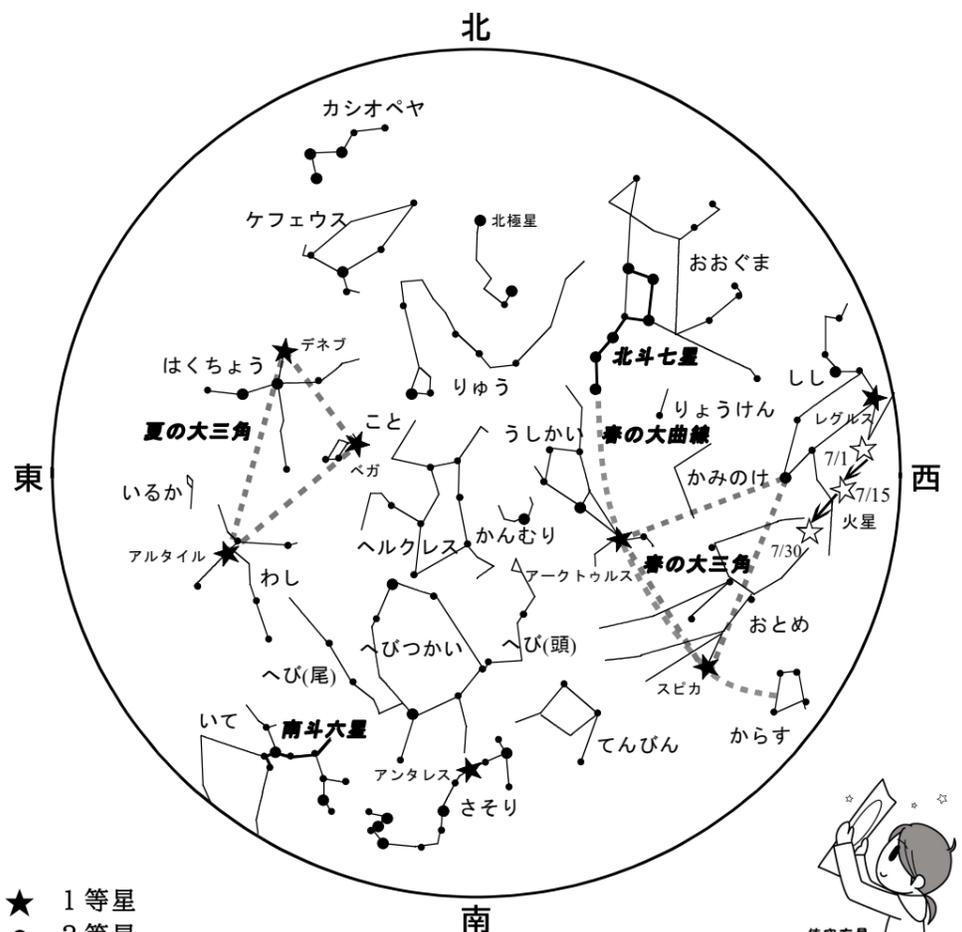
★かんたん星座早見★

7月

(月は描いてありません)



てんびん座



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星

7月1日午後9時30分頃 7月15日午後8時30分頃 7月30日午後7時30分頃



星図早見書を使うときは、方向を合わせてください。